創世記１８章　前半

２０１２年１０月９日　担当Ｓ

書記マ

人物の復習

・アブラハム

部族の長。昔の名前はアブラム

・サラ

アブラハムの奥さん。　昔の名前はサライ

・ハガル

もともとは女奴隷

・イシュマエル

アブラハムとハガルの息子

自分が読んでみての感想、疑問

・突然現れた見知らぬ客へのアブラハムのもてなしは、異常と思えるくらいに豪華だ。

・でも、この料理のもてなしには相当時間がかかっている気がする笑。

・そうして主の使いの人数は３人である必要があったのだろう？

・どんな人でも、客人に突拍子もないことを言われたら笑うでしょ。

読んでみての感想、疑問

ハ兄：3人って誰だろう？

け兄：サラの反応は当然

I兄：主が笑ったとはどういうこと？

五兄：描写が細かい。

T兄：アブラハムは３人が主の使いだと察しているが、サラには3人がただの人に思えていたのではないか。

瀧兄：３人って意味があるのか？イエスの誕生に来たのも３人。三位一体。3セア

ハ兄：アブラハムは部族長なのに、なぜ自分のことを僕だといっているんだろう

S兄：たかが客人にこのような対応をするのは変じゃないか？どのタイミングで主の使いだと気付いたのか？

３人にはどういう人が含まれているのか？

マ兄：主と二人の御使い。

主が含まれているのに人って言っちゃっていいの?

『靴屋のマルチン』

三人とも主ではないか

お客様、主人、

信用、信頼、愛するなどといったことはいつの間にか信用していた、信頼していた、愛しているわけで、いつの間にか気づいていた。

周りに食わせてあげるというのが王様、族長のつとめ。自分の部族の人間、奴隷なども呼んでいるから、大量の食事が用意されている。

今回のテーマ

「それでもあなたは主を信じるのか」

背景～１５章からのアブラムとの契約～

Ｑ,ハガルと子供を作ったことをどう思いますか？

け兄：ハガルにのりかえちゃうかな

T兄：今の倫理ではちょっとどうかと思うけど、昔の倫理なら普通なら信じていても（信じているからこそ？）作っていてもいい。

I兄：自分がアブラムだったら、同じようにした。

ツ兄：アブラハムが神を信じているとして、信じるままに

Ｑ.もし、あなたがアブラムと同じ立場(主から具体的にイサクの誕生を示される前)なら、それまでの主の言葉を信じ続けることができますか？

・人間だったら成果が出ているほうをとる

・

Ｑ.では、その状態で主からイサクの誕生を示されたなら、あなたはそれをどう受け止めますか？